



るうてる

2012年
5月
No.773

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1
電話 03-3260-8631

■振替口座■ 00190-7-71734
■ウェブサイト■ <http://www.jelc.or.jp>
■E-mail■ jelc@jelc.or.jp
■発行人■ 徳野昌博 m-tokuno@jelc.or.jp
■印刷人■ 精文堂印刷株式会社
■定価■ 1部 40円 (郵送料を含む)

説教 「幸せの方程式」

「祭りか最も盛大に祝われる終わりの日に、イエスは立ち上がりて大声で言われた。『渴いでいる人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その人の内から生きた水が川となって流れ出るようになる。』イエスは、御自分を信じる人々が受けようとしている『霊』について言われたのである。イエスはまた栄光を受けておられなかったたので、『霊』がまだ降ってはいなかったからである。』
(ヨハネによる福音書7章37〜39節)

主の聖霊降臨を、心より
お喜び申し上げます。

『見ているだけで何も描
けずに一日が終わった』
『そういう日と大きな事を
やりとげた日と』同じ価値
を見いだせる心になりた
い』

これは星野富弘さんの作
品です。どのような状況に
あっても、すべてが神様の
祝福として、また恵みとし
て受け止めたいという星野
さんの信仰が伝わって来ま
す。

ペンテコステ(聖霊降臨)
を境に、イエスの弟子たちは



から、「生きた水
が川となって流
れ出る」と言わ
れることなので
す。

ところで、イ
エスが、「…そ
の人の内から生
きた水が川と
なって流れ出る

ようになる。」という言葉
を發した背景ですが、聖書には
祭りの終わりの日とあります。
この祭りは、仮庵祭と呼ば
れるイスラエルの三大祭の
ひとつで、ぶどう、いちじ
くなどの秋の収穫を感謝す
る祭りです。またイスラエ
ルの暦では、年末に当たり
新しい年も豊かな年である
ことを祈るもので、間もな
くやって来る雨季に際して
雨が多くもたらされること
を祈願したのでした。ゼカ
リヤ書一四章一六〜一七節
には、仮庵祭を祝うのに、
エルサレムに上って来ない
者には、雨が与えられない
とまで言われています。で
すから、仮庵祭は、ユダヤ
人にとつて水をもたらす特
別の意味を持っていたので
す。

かつて、モーセに率いら
れたイスラエルの民が、「な
ぜ、我々をエジプトから導
き出したのか。わたしも子
供たちも、渴きで殺すため
ではないのか」と、モーセ
に迫った時、主の示された
ホレブの岩を杖で打つと、
そこから水が出てイスラエ
ルの民は救われたことが
あります。

「生きた水」と「信じる」が
一つになっているというこ
とです。イエスを信じるこ
とをとおしてのみ生きた水
が私たちに与えられるとい
うことです。水は絶え間な
く流れていなければ瀬んで
きますし、腐ってしまうこ
とになります。しかし、イ
エスを信じるということ
結びついて初めて「生きた水」
となるのです。イエスが共
にいてくださることによつ
て「生きた水」となるので
す。

人はしばしば、幸せにな
る人生の方程式があればと
願います。もしそうならば
どのような状況に置かれて
も、その方程式どおりにす
れば、幸せになれるはず
です。

また、イエスがサマリヤ
の町に来られた時のことで
す。丁度昼時で、イエスは
旅に疲れ、ヤコブの井戸の
そばに座っていました。そ
こに水を汲みにサマリヤの
女が来ました。喉が渇いて
いたイエスは彼女に水を一
杯飲ませて欲しいと願った
ことがありました。そして、
ヤコブの井戸の水を飲む者
はだれでもまた渴くが、イ
エスご自身が与える水を飲
む者は決して渴くことはな
く、「その人の内から泉となり、
永遠の命に至る水がわき出
る」と言われました。イエ
スが、「生きた水」と言われ
るのは、それはとりもなお
さず、「永遠の命にいたる水」
なのです。

浦田教会牧師 渡邊純幸



「生きた水」と「信じる」が
一つになっているというこ
とです。イエスを信じるこ
とをとおしてのみ生きた水
が私たちに与えられるとい
うことです。水は絶え間な
く流れていなければ瀬んで
きますし、腐ってしまうこ
とになります。しかし、イ
エスを信じるということ
結びついて初めて「生きた水」
となるのです。イエスが共
にいてくださることによつ
て「生きた水」となるので
す。

るうてる
子どもキャンプ
日時：2012年8月7日(火)
～9日(木)
場所：日本福音ルーテル広島教会
テーマ
来んさいヒロシマ
—Peace (ピース) じゃけえ—
対象：小学校5年6年

お問い合わせ/お申し込みは
シオン教会前野チャペル小室康彦牧師(キャンプ長)
082-778-2751

リラ・プレカリア公開講座
2012年

5月17日	植松功	闇の中で光を うつらうつらとそよぐ音楽
7月5日	橋本周子	グレゴリオ聖歌その1 ～祈りのこぼれが響く
7月12日	橋本周子	グレゴリオ聖歌その2 ～祈りの歌の真髄に触れる
9月13日	大柴誠治	詩編入門
10月4日	鈴木茂	詩編23編
10月11日	山本雅基	きぼうのいのちのターミ ナルケアと看取り
10月18日	矢内義典	霊的な読書—6世紀 の修道院成律から—
10月25日	賀来周一	なぜ、こんなことが私 に起こるのですかと問う人へのケ ア—不条理の問題を考える。
11月8日	徳善義和	詩編とルターと音楽と

会場：恵比寿ジェラミオンセンター
各回午前10時30分～12時 入場料1000円
主催：日本福音ルーテル社団(JELC)

宗教改革五〇〇周年に向けて
ルターの意味を
改めて考える(2)

一三世紀に頂点を迎えて
ヨーロッパ文化は、一
四世紀以降、混乱の度を
加えるようになった。教
皇が二人、そのうちに三
人も並び立って争い合っ
たり、教皇庁がフランス
領に近いアヴィニオンに
移転して、フランスに支配
されることになったり、一
五世紀半ばにはビザンティ
ン帝国を滅ぼしたトルコが、
ヨーロッパに矛先を向ける
ようになっていた。一
言で言えば、中世後期は「危
機の時代」であった。

その危機の時代に生ま
れ、生きたのがルターで
あった。不幸なことに、ル
ター自身も魂の危機に直面
していた。「宗教改革」は、
社会全体の危機とルターと
いう一人の修道士の危機と
が重なって起こった。

ルターは苦しんで
いた。それは、どうして
も「救いの確信」が得ら
れない、という点にあっ
た。その危機を解決すべ
く、ルターは悩みに悩ん
だ末に、父親の意向にも
逆らって、修道院に飛び
込んでしまった。落雷で死
の恐怖を味わったルターに
は、そこしか逃げる場所は
なかったのだ。

「アウグスティヌス隠修
修道会戒律厳守派」とい
う托鉢で生計を立ててい
た修道会であった。

鈴木浩 所長



おでかけください。お祈り下さい。
※現在の予定 今後変更や増える可能性もあります。教会名は主催だけでなく場所を示している場合もあります。

- 4月 25日 : ルーテル学院大学
- 28日 : 札幌教会
- 30日 : 大森教会
- 5月 3日 : 東京教会 (全国総会)
- 6日 : 武蔵野教会
- 10日 : 静岡教会
- 11日 : なごや希望教会
- 13日 : 京都教会
- 14日 : 熊本地区牧師会
- 15日 : 九州学院、熊本地区女性会、健康教会
- 16日 : 九州ルーテル学院、熊本教会
- 17日 : 博多教会
- 18日 : 福岡教会

日本福音ルーテル教会 (JELC) は、世界ルーテル連盟 (LWF)、ブラジル福音ルーテル教会 (ECLB) との協働により、在ブラジルの日本人・日本人のために福音伝道を始め、1965年にサンパウロ教会を興しました。福音伝道は、7人組、8代目の宣教師として派遣され、神様の導きにより、ホルトガル語礼拝、日本語聖歌、パソコン教室などを始めました。その後福音伝道と改宗工事後、諸教会やイベントも活用し、ゲストハウス・グストルムの働きを始め、日本人だけでなくブラジル人、南米諸国の信徒、日本人などの出入りも増える多様な教会になりました。

これらは、神様の不思議な導きと、先輩や後継の御支えと祈り、そしてサンパウロ教会の皆さんと、そこで出会った一人一人のおかげです。これからも、熱心を持って育つ、共にお祈り下さい。



いかに美しいことか。
山々を歩き巡り、良い知らせを伝える者の足は。
イザヤ書52章7節

足で伝道した人、「邦宏先生」を偲ぶ
賀来周一

佐藤邦宏先生と我々同期は驚宮時代の神学校を1958年に卒業した。入学以来の付き合いから数えると57年が経つ。青春時代の挫折を抱えながら、文士の街阿佐ヶ谷駅近辺を彷徨したことも懐かしい思い出となった。当時の卒業生は大抵の場合、開拓伝道か開拓に近い教会に送り出されるのが当たり前のようになっていた。

彼が新婚早々の玲子夫人を連れて赴任したのは鹿児島教会だった。教会はまだ開拓の域を越えず、牧師館だけが敷地には建っていた。当時は伝道放送ルーテルアワーが盛んで、各地の教会は、送られてくる聴取者カードを手がかりに教勢の進展を図ったものである。彼もまた、これを伝道的手段として有効に使ったひとりだが、彼の場合は丁寧に一軒一軒足で訪ね歩いた。時には、鹿屋を越えて大隅半島の突端近くまで出向くこともあったと聞く。

こうした地道な伝道は、やがて実を結び、会堂を建て、障がい者授産所オミホームや



九州教区二日市・福岡西両教会牧師より、4月1日付にて、東日本大震災ルーテル教会救援派遣牧師として、仙台

2005年3月20日、10時53分40秒、まさに、私が説教



4月11日のお茶っこサロンは、アメリカ・オハイオ州からやってきた親子と共に、仮設三反走団地集会所で行いました。

教会に活動拠点を置くルーテル支援センターとなりびとでの働きを与えられました野口勝彦と申します。

私が牧師としてはじめて主日礼拝での説教奉仕をさせていただいたのは二日市教会でした。

その日、2005年3月20日、10時53分40秒、まさに、私が説教

仮設住宅では、一日、何もすることなく、お隣や家族に気を使いなから、身を縮めて毎日を過ごされている高齢者の方が少なくありません。

野口 勝彦先生 (JELC 派遣)
住所：〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-7-7 上杉ハイツ802号室

荒尾教会 (兼牧のため、教会併設のシオン園の電話番号に変更)
電話番号：0968-62-0428

また、4月1日から熊本市が政令指定都市となり、熊本市○○区のように住所が一部変更されますのでご注意ください。

学生寮を建てるに及んだ。鹿児島から箱崎、市ヶ谷と各教会を牧会し、その間総会議長、NCC議長を歴任し、牧会を離れて日本聖書協会総務に就任するが、基本的な姿勢は終生変わることはなかった。

今年3月末、ある講演会場で年配の婦人会った時のこと、「邦宏先生はお元気ですか」と尋ねられた。「あの方は熱心な方ですね。私は市ヶ谷教会の近くに住んでいましたが、毎週のように週報がポストに入っていました」

と懐かしそうであった。「邦宏先生」という呼び名に私の気持ちは動いた。「佐藤先生」ではないのである。如何に彼が近隣に親しまれていたかを知る証を聞いた思いがした。

「足で歩く」これは、この時代が牧師に求める姿ではないか。車、ケイタイ、メールと便利にはなったが、「足で歩く」ことは牧師の基本である。「邦宏先生は、この基本を私たちに残してくれたと思っ

壇に上り、説教をはじめようとしたり瞬間、地震空白域とされた福岡で、最大震度6弱の福岡県西の方沖地震が発生しました。それから七年を経過した今、昨年、3月11日に発生した未曾有の大災害である東日本大震災の被災地の支援活動に派遣されたことは、私にとっての新たな召命だと感じています。

先日、仮設住宅での支援活動の一つである「お茶っこサロン」に参加された高齢者の方を玄関でお見送りすると、何人もの方から「今度はいつ来るの」と声をかけられました。

住所変更のお知らせ
■白髭 義先生 (3月末引退)
住所：〒818-0058 福岡県筑紫野市湯町2-12-5 日本福音ルーテル二日市教会
電話・FAX共用：092-9222-2491